

2020年10月1日

(幼保連) 認定こども園さふらん



園だより

10月号

10月の聖句

御言葉を行う人になりなさい。

ヤコブの手紙1章22節

芝生の上を赤とんぼが舞い、暑かった日々から心地よい秋風がうれしい季節になりました。

久しぶりにどんぐりがたくさん落ち拾い集める子ども達！さて何を作ろうかな？どんぐり笛やままごとのごちそうに！クルミもザクロもナツメも実をつけ秋の恵みがいっぱいです。

2学期がスタートして1ヶ月、コロナの収束が見えない中、教職員はいろいろ気を付けながら子ども達にとっては変わらぬ日常をと努力しています。

“図書の貸し出しもやりたいけれど大丈夫かな？食事の配膳も自分たちで出来ることをやらせたい。”今まで当たり前になっていたこともコロナ禍の中で立ち止まり、教師自身が自制することも多く、みんなで解決策を考えつつ歩む日々です。

年長さんはダンスやリレー・レッツチャレンジの他に運動会をリードする係も決まり、とても張り切っています。年中さんはダンスで使う旗も手作りして嬉しそうに見せてくれました。年少さんはかけっこも上手になりました。さくらんぼさんは人数も増えて11人となり賑やかになりました。

父母会活動も再開されたとはいえ今まで通りには活動できてないのが現状です。各担任はクラスの様子や子ども達の日常を伝える懇談会が開かれない今、直接お顔を見て話すことの大切さを改めて痛感しています。皆様にとっても同じではないでしょうか。年中組は運動会後に顔合わせをしたいと思います。また2学期中に1クラスずつ、ホールで懇談会を開きたいと計画しています。

2回目の園バスの消毒を9月14日に行いました。前回から3ヶ月経過し次の消毒が必要ないことを願っています。

子ども達が毎月覚えている聖句も聖書の中の御言葉です。その意味も言葉もまして行うことも難しいけれど、いつか思い出して心の糧になったら嬉しいと思

ます。人生の折々に私にとって生き方の指標になっています。

運動会について

例年ですと大勢のお家の方の声援で一層盛り上げる運動会ですが、今年は先のお便りでお知らせした通り一家庭お一人の参加とさせていただきます。楽しみにされていた方々の入場制限は本当に心苦しく思います。

椅子の間隔をあけて園児席を設置する為（ナーサリーは参加せず）父母席が充分とれず、室外とはいえ3密を避けられない状況になりますのでご了承下さいますようお願いいたします。

{園長会の折に“運動会どうしますか？”とS幼稚園の園長の問いに・・・
「年中・年少・年長と3日に分けて行う。」「1日の内で時間を決めて午前にな年少・年中・午後に年長と3回行う。」など…}今年の運動会は、どの園もそれぞれ苦慮している様子が伺えました。

当園も変わらず、親子競技もお弁当の時間もなく午前で終了ですが、どうしても繫げたいのは年長さんの8つの係り（プラカード・体操・始めの言葉・スタートの笛・放送・ゴールテープ・ガード・終わりの言葉）です。係りは運動会全般をリードする大切な仕事です。その任を負う年長さんはとても張り切って責任を果たし一人一人の大きな自信につながってきました。そんな姿に年中少はあこがれを抱きます。代々受け継がれてきた伝統があってこそそのさふらん幼稚園の運動会です。そのような理由で学年を分けて行うことができません。

園の方針をご理解頂き、ご協力下さいますよう宜しくお願いいたします。

見に来られないお家の方の分も合わせて大きな声援をお送りください。

例年通り小島カメラマンが写真を撮ります。そして参加できない方の為に業者によるビデオ撮影をし、ご希望の方に販売します。

10月の園だよりから

園長 早坂悦子

10月の聖句

御言葉を行う人になりなさい。

ヤコブの手紙1章22節

残暑厳しかった9月初めから、急に涼しくなり秋を感じる頃になりました。季節の変わり目です。子ども達の体調管理には十分気を付けていきましょう。

「良く話を聞いて動けるりんごさんすごい！」リトミックの鈴木教諭の言葉。ピアノに合わせて走ったり歩いたりホールいっぱい使ってどの子どもとっても楽しそうです。そんな一人一人を見つめながらコロナ禍での2ヶ月の自粛期間がありましたが、リトミックだけでなく生活の中で話を聞いて行うことも身に付き、子ども同士のつながりも安定してきたなあ！ととても嬉しいです。

6月当初泣いたうさぎさんも今ではすっかり安心して過ごせるようになりました。何事にもみんな意欲的！それぞれが好きな遊びを見つけて時には物の取り合いも勿論ありますが、互いに心を通わせゆったり遊ぶ時間はとても貴重なことに思えてなりません。

今年は幼稚園とは別にナーサリーだけの運動会を13日に行います。年長さんは係の仕事を引き受け、ダンスも見せてあげると張り切っています。いつもと違った特別な運動会今からとても楽しみです。

お天気の良い日にうさぎさんは避難車に乗ったり、ゆっくり歩いて園外へ散歩・りんごさんは近くの公園へ行き秋をいっぱい味わってきます！

子ども達の“やりたい！”の気持ちを大切にいろいろな遊びや活動を広げていきたいと思えます。

幼稚園の子どもたちは毎月聖書の中の言葉（聖句）を暗唱しています。分かりやすく話をする中で、御言葉に親しんでいます。大人でも意味は分かっても行うことは難しい聖句もあります。聖書の言葉に私も慰められ勇気を与えられてきました。

10月のナーサリーだよりから

園長 早坂 悦子